



## 出会う力

今回は事務局がご多忙な横山理事を本社にお伺いしてインタビューしました。

株式会社横山基礎工事 代表取締役社長 横山 弘介  
岩盤削孔技術協会 理事



**横山 弘介 (よこやま ひろすけ)**  
昭和16年10月30日生まれ。兵庫県育ち。昭和41年自動車整備工場を開業。昭和47年株式会社横山自動車整備工場を設立、代表取締役社長に就任。昭和56年6月株式会社横山基礎工事を設立、代表取締役社長に就任。

そんなある日、電力関連会社から「電柱を建てるため岩盤に穴を掘ってもらえないか」との依頼が入る。スクリー掘削を行うが、まったく歯がたたなかった。この出来事が、後の「岩盤削孔の横山」を生む。整備工場（株式会社横山自動車整備工場：現在24名）を基盤に、基礎工事（株式会社横山基礎工事：現在270名）を営む組織形態には理由がある。

### ■努力・強運

人生の転換期は大きな出会いとともに訪れる。今は亡き東邦金属株式会社三谷部長に岩盤削孔について相談したところ、山のようなカタログの中から「岩盤を削孔するならこの機械はどうですか？」とアメリカのインガソール・ランド社の国内販売元である東京流機製造株式会社を紹介された。

要請を受け同社の伊藤部長は、厳寒の夜、東京から佐用駅着の最終列車で自宅まで訪ねてこられた。明け方までダウンザホールハンマの特徴、性能について熱意のこもった説明を受けた。

その2週間後に、アメリカから第1号機を導入、愛知車両の中古建柱車を改造、採石場で試験削孔を行い、破碎されていく岩盤と驚異的な削孔スピードに目を奪われ、あらためてダウンザホールハンマの威力に圧倒され国内における岩盤削孔技術の躍進を確信した。

### ■好奇心・研究心

現場でトラブルが発生すると、いち早く出向くか、連絡を

### ■会社設立

南西部に播州赤穂、古くから出雲街道、因幡街道が交わる交通の要衝、佐用町で5歳のときから育った。美しい日本の山村風景が展開する町。また有名な朝霧が野山一面を覆い隠し静謐かつ雄大な美しさを醸し出す。

自動車整備とレッカー作業の傍ら、智頭線工事、中国横断道工事へのクレーンリース等を手がけ、民間車検工場の指定を受けるまで幾多の経営危機を乗り越え昼夜を問わずに働き続けた。

とりながら原因を迫りし作業方法を指示、機械の改善・改良を重ねることで新しい削孔技術の確立と、たゆまぬ整備で培った技術力で機械開発を行ってきた。今もその前向きな姿勢は変わらず、多くの社員に受け継がれている。

難工事から得たヒントをもとに新工法をどんどんと世の中に提供し、土木建築、あらゆる建設現場で得意の岩盤・転石・地下障害物の掘削を行い、構造物を創るため、また業界に対し少しでもお役に立てる会社になりたいと望んでいる。技術審査証明を取得した仮橋・仮栈橋『LIBRA工法』のシリーズ充実を図るため、海上工事に用いる150t～300t橋の開発を進めている。

姓名学による鑑定でも、“宿命の運・才能・生涯運・姓と名の調和”が大吉で、強固な意志力・優れた判断力・誠実温厚な人柄・敏感に反応できる感受性と柔軟性をもつ人。新しい分野で大成功する強運をもつ人とか。

### ■社員とのコミュニケーション

信仰心が厚く、毎朝、先祖にお参りをし、会社の敷地内のお稲荷さん（五穀の神）と、ごりんさん（地・水・火・風・空をかたどった石積み塔の塔）にお参りをしている。

社員に直接話しかけ徹底して議論する。間違っただけは「私が間違っていた“スマン”」と素直に認め、わからないことは「どうなっているのか教えてくれ」と率直に尋ねることで全社員とのコミュニケーションを深めている。

朝は社員の顔を見るなり自ら「おはよう」の一言を欠かさず、常に「ご苦労さん」と声をかけるのが横山社長流の思いやりの表現。社員寮・社宅は40室（3LDK）2棟（鉄筋5階建、エレベーター付き）を設け、勤続10年目には夫婦で北海道旅行に、勤続20年目には海外旅行に招待し労いの言葉をかけられている。

### ■趣味・信条

信条は、「人と人との出会いを大切に」「困ったとき、いろいろな面で協力が得られ助けていただける人を1人でも多くもつ」「自分はだまされても決して人をだまさない（特に営業社員には徹底教育されている）」。

趣味は、温泉めぐり（特に秘湯）とゴルフを少々。年3回、社内ゴルフコンペがあるが、優勝よりブービー賞が多い腕前とか。社長の趣味は「仕事ですよ」といった社員評価もある。激務ゆえ健康にはくれぐれもご留意を。

（事務局 葭田誠作）